

五里地区小中一貫教育学校

【第11号】

建設準備委員会だより



このたよりは、五里地区の小中一貫校の開校に向けた準備の情報をお届けするものです。今号では、第11回建設準備委員会の様子をお知らせします。

第11回建設準備委員会を開催

2月27日(月)に第11回建設準備委員会を開催しました。今回の委員会では、以下のことについてグループ協議を行ないました。

【議事内容】

- ・施設整備方針について
- ・平面構成計画、今後の検討課題について



施設整備方針について

第10回建設準備委員会で行なったグループ協議での意見を盛り込んだ「施設整備方針」が示されました。変更点は以下のとおりです。

1 一貫した教育活動と多様な展開を実現する学校

- ④情報化社会に対応した情報環境の整備 (変更前)
⇒情報化・国際化に対応する教育活動を展望した施設環境の整備 (変更後)

前回のグループ協議での意見は、「施設整備方針」以外にも「今後の検討課題」へ反映されました。また、教育内容に関係が深いものについては、五里地区小中連携・小小連携推進委員会等で協議が行なわれていきます。

平面構成計画 今後の検討課題について

校舎内の諸室の連関や考え方についてまとめた「平面構成計画案」、これまでの建設準備委員会での意見等からまとめた「今後の検討課題案」について、協議を行ないました。概要は以下のとおりです。

○平面構成計画(案)

1 平面構成

必要諸室の構成は、児童生徒や学習内容に応じた教育、地域に根ざした学習活動が展開できるよう、各教室に必要な機能を満たしながら柔軟に組み立てます。

1. 全体構成

- ・校舎内は、発達段階や9年間を見通した教育活動を考慮した上で、安全性、利便性に配慮した構成計画とします。
- ・主要諸室は、教科指導の連携や異学年交流の充実を図れるよう配慮した計画とします。
- ・校舎内動線は、児童生徒、教職員、外部からの訪問者等が、それぞれの必要に応じ、安全かつ円滑に移動することができるような計画とします。

2. エリアの構成

①普通教室エリア

普通教室エリアは、前期・中期・後期課程の区分に応じた構成計画とします。

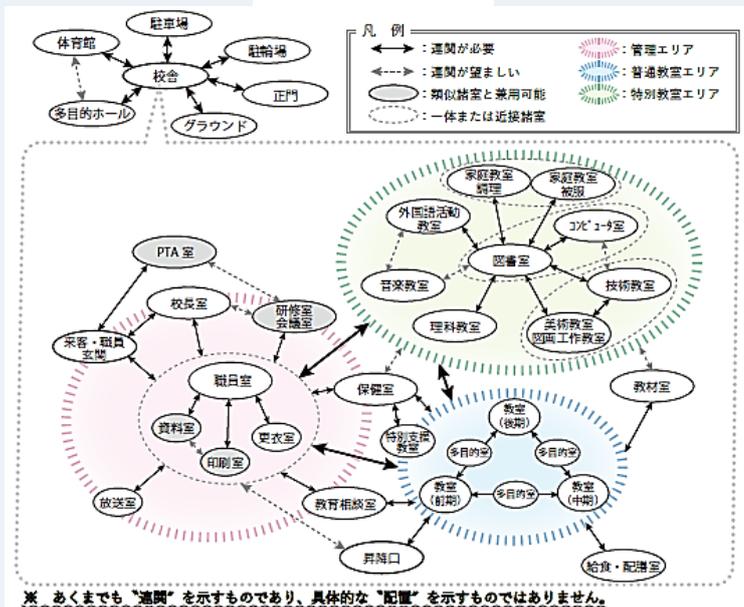
②特別教室エリア

特別教室エリアは、小学部と中学部の専用・共用諸室を明確にし、共用諸室は、児童生徒の体格差に配慮した計画とします。

③管理エリア

管理エリアは、学校運営の円滑化や防犯に配慮した計画とします。

主要諸室の連関図



○今後の検討課題（案）

基本構想では、小美玉市小中一貫教育基本方針等を踏まえた上で、地域特性を考慮した玉里地区小中一貫校（仮称）における施設整備の方向性を検討してきました。

今後は、基本構想を基に、小中一貫校の特性を活かした魅力ある教育活動をより効果的に実現する施設づくりの検討を深めていくことが必要です。

基本設計・実施設計を進めるにあたり、設計における諸課題の段階的な解決及び基本構想の具現化を進め、具体的な施設環境・形態を構築します。

1. 長期的な視点に立った施設整備
コンパクトで機能的な施設及び長期的な維持管理を見通した計画
2. 施設形態別の特性や学習・生活環境
基本としたB-②案を基に、敷地の有効活用、効率的な学校運営を踏まえた施設整備計画
3. 周辺環境や校内における日照
基本としたB-②案に対する懸念事項（主要道路の日照影響や教室の採光について）を緩和する計画
4. 周辺環境に適する景観
公共建築に相応しい景観を確保するための計画
5. 地域特性を活かした教育環境
玉里地区の豊かな自然環境を身近な教材として、教育活動に有効活用するための計画



主な意見

- ・児童生徒の登下校動線と自家用車等の動線が重ならないよう、専門家の意見等を取り入れ、安全に配慮した配置をお願いしたい。
- ・ペーテる茨城工場方面からの道路を児童が多数利用することが予想される。交通安全を考え、周辺の整備も必要ではないか。



- ・グラウンドは各競技スペースが重ならないようにするとともに、低学年の児童と中学生が交錯しないようにする等、安全に配慮して遊具やグラウンドの配置をしてほしい。

- ・建物については、できるだけ木の温もりを取り入れた校舎にしてほしい。
- ・何年後かに教室等の考え方が変わった際など、オープンスペースや教室間の仕切りなどは、柔軟に対応できるようにお願いしたい。



- ・これからの時代は、子供達が一人一台のタブレット端末を使うようになってくると思う。図書室やコンピュータ室のように固定化した教室ではなく、柔軟性のある教室を基にタブレット端末を使い、自由な教育ができるような環境としたい。
- ・図書は図書室で蔵書してもらいつつ、多目的スペースのような共有スペースに前期・中期・後期の学年区分に適した本を置くスペースがあると良いのではないかと。また、そのような場所が1フロアに1つあり、タブレット端末を使用できると良いのではないかと。

- ・低学年が使用する特別教室は低学年の教室の近くに配置するなど、できるだけ移動の少ない教室配置にするといった配慮が必要ではないか。
- ・小学校の理科と中学校の理科は違うものがあるため、同じ教科でも教科の種類によっては2教室必要になることがある。



次年度の準備委員会

基本構想やグループ協議での意見等を基に、平成29年度は基本設計の案（具体的な設計図）を作成していく。

※議事録は、市のホームページ（以下のURL）で公開しています。
<http://city.omitama.lg.jp/8106.html>



建設準備委員会の日程は、市のホームページでお知らせしています。委員会は、自由に傍聴できますので、詳細は事務局までお問い合わせください。

発行：玉里地区小中一貫教育学校建設準備委員会

（事務局）小美玉市教育委員会

施設整備課 学校づくり推進係

〒311-3492 小美玉市小川4-11

電話 0299-48-1111（内線2212・2216・2217）

Eメール shisetsu@city.omitama.lg.jp